

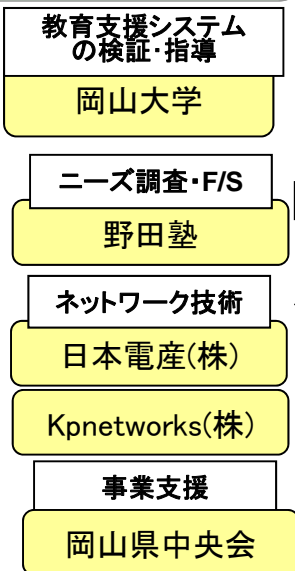
地域	岡山県岡山市	認定日	平成28年10月14日	6-28-87
事業分類	サービス(教育, 学習支援)	テーマ分類	IT(情報技術、情報通信技術を活用する事業)	

事業名: 生徒情報のリアルタイム把握と教育ビッグデータの活用による双方向学習支援システムサービス

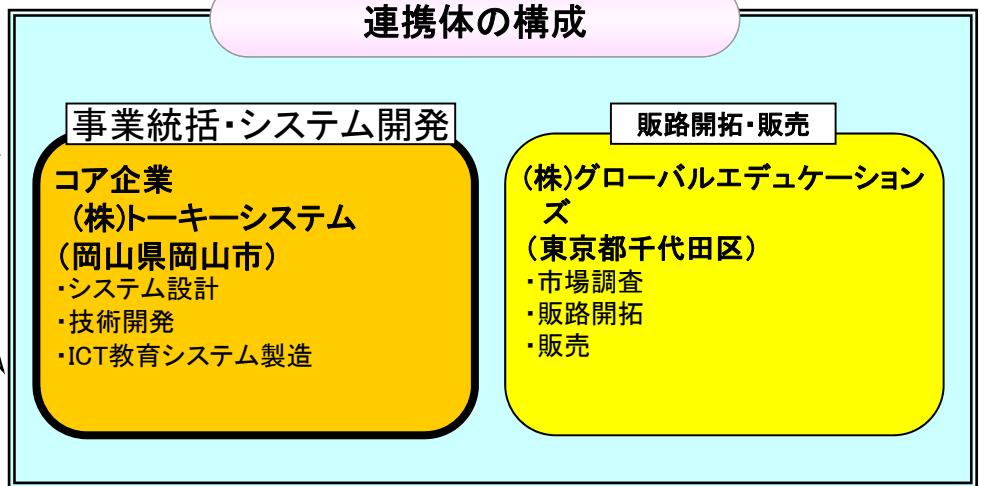
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・文部科学省は第2期教育振興基本計画で9000億円の予算を計上し、平成29年までに、「タブレットなどの情報端末を3.6人/台配備」、「電子黒板は全普通教室に整備」する目標を掲げるなど、学校のICT化による協同型・双方向学習を積極的に推進している。また、双方向学習支援システムは学習塾では積極的に採用されており、新たに学習履歴などの教育ビッグデータとしての記録・分析が求められている。
 - ・本事業は教育分野でICTのより効果的な活用を図るもので、教育現場からの要請にこたえるため、新たな機能を持つ双方向授業支援システムを事業化し、以下の新サービスを提供するものである。
 - ① 質問に対する生徒の回答を記録・分析し、出欠・体調・授業の理解度などをリアルタイムに表示する。
 - ② 長期間にわたる生徒の回答や教師の指導などの教育ビッグデータ*を収集・分析し、授業へのフィードバックや生徒ごとの指導や教師の指導力の評価や向上に役立てられる。
 - ③ 岡山大学や野田塾(本社:愛知県)にて学習支援システムの効果を検証するとともに、教育ノウハウやコンテンツをオプションサービスとして提供する。
 - ④ 生徒の持つ多機種種の端末で接続するBYOD(Bring your own device)を想定した200~300人の大講義室での、同時通信できる双方向教育システムサービスの提供。
- (*教育ビッグデータ:スマートフォンやタブレット経由で収集した生徒の学習頻度や成績、課題の進捗度合いなどのデータを分析し、生徒1人ひとりに対して最適な指導をしたり、教材を開発したりする科学的なアプローチで、教育サービスの質を高める手法。

事業推進体制

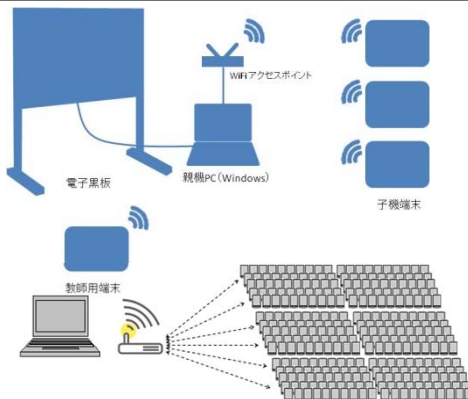


連携体の構成



支援予定メニュー

- ① 補助金
- ② 信用保証
- ③ 特許料減免 等



- ・授業開始前後にアンケートを実施。
- ・授業中、定期的、または、必要なタイミングでアンケートを実施。
- ・上記結果を即時に教師用端末に表示して、教師が生徒の状況を把握。
- ・日々のアンケート情報を教育ビッグデータとして蓄積し、分析して、学習定着度、苦手分野の特定、モチベーション管理など生徒指導に活用。
- ・教師自身の指導法の改善・評価に用いる。

双方向学習支援システムのイメージ